

2026 年 8 月 31 日

【技術のバトンを次世代へ】

STL マイスターに聞く、「時計修理にかける想いと挑戦」

セイコータイムラボ株式会社

セイコータイムラボ株式会社(代表取締役社長 萩原 康則、本社：東京都江東区、以下「セイコータイムラボ」、「STL」)では、お客様に最高品質の腕時計修理サービスを提供するため、高度な専門知識・技能を有し、技術力向上や後進育成に貢献する社員を「STL マイスター」として認定しています。

今回は、2026 年度に「STL ブロンズマイスター」に認定された時計修理技能士 H.T さんをご紹介しますとともに、STL マイスター制度に込められた想いや、技術者として成長できる環境についてお届けします。



2026 年度「STL ブロンズマイスター」に認定された、時計修理技能士 H.T さん

本件に関するお問い合わせ先:セイコータイムラボ(株) 管理部 鍋島(ナベシマ)

Tel: 03-5624-2111(代表)/Mail: prdept@seiko-stl.co.jp

Newsletter

STL マイスター紹介

【プロフィール】

時計修理技能士 H.T

入社年 :2014 年 4 月

所属 :サービス部門

担当業務 :高級機械式時計の修理・メンテナンス、チーム運営・後輩育成

保有資格 :時計修理技能士 1 級(※1)、いわてウオッチマイスター(※2)、STL ブロンズマイスター

主な実績 :時計技能競技全国大会 第二部門準優勝・第一部門優勝

※1.時計修理技能士 1 級:

厚生労働省の技能検定制度による国家資格であり、時計修理に関する高度な知識・技能を有することを証明する資格です。

※2.いわてウオッチマイスター:

岩手県が創設した「技能評価認定制度」に基づき、機械式時計の修理に関する技能評価を行うもので、いわてウオッチマイスター・1 級・2 級があります。マイスター試験は機械式時計の修理、調整を行う実技(7 時間)と学科(250 問)が課される難関試験です。マイスターは、1 級・2 級よりもさらに高い能力「部品修復による修理ができる、より高い復元・調整能力」が求められ、全国で 10 名しか認定されていない資格です。

【担当している業務について】

現在は、サービス部門にて、高級機械式時計の修理・メンテナンスを担当しています。

入社後は GPS ソーラーウオッチやソーラー電波ウオッチの修理からスタートし、その後、海外修理拠点の技術支援するための海外出張も経験しました。現在は、これまでの経験を活かした修理業務に加え、チームリーダーとして修理進捗の管理や後輩育成にも携わっています。

【時計修理技能士として大切にしていること】

「お客様から修理品としてお預かりした時計を、できる限り最良の状態でお返しすること」です。

修理のご依頼内容にただ対応するのではなく、気になる箇所や違和感があれば妥協せず、自分自身が納得できる状態まで仕上げることを心掛けています。

修理後にお客様からお礼のお手紙やアンケートをいただいた時は、大きなやりがいを感じます。特にグランドセイコーをはじめとする高級時計はお客様の期待も高いため、その期待に応えられるよう日々技術を磨いています。



修理作業の様子

【STL ブロンズマイスター認定までの道のり】

これまで、時計技能競技全国大会への挑戦やいわてウオッチマイスターの取得など、一步ずつ経験を積み重ねてきました。

ブロンズマイスター認定の試験では、幅広い知識と確かな技術力が問われます。何が出題されるかわからない中での試験対策は大変でしたが、豊富な経験と高い技術力を持つ先輩方から試験に向けた助言やアドバイスをいただきました。自分では気づけない課題や改善点を発見できたのは、先輩方の支えがあったからこそです。周囲に恵まれた環境のなかで、技術や知識を磨くことができました。

【今後の目標】

今後は、さらに上位資格であるシルバーマイスター、ゴールドマイスターの認定を目指しています。また、自分が先輩方に支えていただいたように、後輩の成長を支援しながら、次世代のマイスターを育成できるよう、知識・技能の伝承を行っていきたいです。

STL マイスター制度の概要

STL マイスター制度は、2017 年に導入されたセイコータイムラボ独自の技能評価制度です。時計修理・メンテナンスに関する高い技術力や知識、実績に加え、後進育成や技術伝承への貢献などを総合的に評価し、ブロンズマイスター、シルバーマイスター、ゴールドマイスターの各称号を認定しています。

Newsletter

【制度が目指すもの】

優れた技術者を評価することだけがこの制度の目的ではありません。

高度な技術や知識を磨き続けることはもちろん、その経験や技能を次世代へ伝え、技術伝承を担う人材を育成することを真の目的としています。技術者一人ひとりが理想とする姿を目指して成長し、その技術と想いを次世代につないでいくための制度です。

また、本制度は社員自身のさらなる技能向上とチャレンジを後押しする仕組みでもあります。若手社員のうちから挑戦することができ、認定後も上位認定を目指せるよう段階的な基準を設けることで、継続的な成長とステップアップを促しています。

認定にあたっては、技術や知識だけでなく、これまで積み重ねてきた経験や実績、それぞれの強みを生かした取り組みを総合的に評価します。修理技能の正確さや専門知識、不具合状況の分析・説明力に加え、後進育成や技術伝承への貢献、仕事に取り組む姿勢なども評価項目に含まれています。

一人ひとりの強みやキャリアを生かしながら成長を支援するとともに、次世代の模範となる技術者を育成することも本制度の大切な役割です。

セイコータイムラボでは、技術を磨き続けたいという志を持つ社員を、さまざまな制度で支援しています。これからも技術の継承と人材育成を通じて、お客様へ最高品質のサービスを提供してまいります。

セイコータイムラボ(株)について

当社は、セイコーのグループ会社として、時計の不具合や経年劣化等の修理にとどまらず、確かな技術や先進の設備を駆使した高度なメンテナンスを通じて、ご愛用の品を末長く使っていただくことを目指しています。

また、修理・メンテナンスの過程で得た気づきを製造元に共有することで、製造時には顕在化しなかった課題を次世代の製品づくりに役立てています。

Newsletter

【会社概要】

社 名 : セイコータイムラボ株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 萩原康則

所 在 地 : 東京都江東区新大橋 1-12-13

設 立 : 1964 年 9 月

事業内容 :

- ・セイコーブランド各種の腕時計の修理、メンテナンスサービス
- ・セイコー純正部品・バンドの販売、調達管理
- ・セイコーウォッチ(株)海外現地法人・代理店への技術指導による人材の育成、修理拠点の確立



セイコータイムラボ(株)の公式 Web サイトアドレス : <https://www.seiko-stl.co.jp>

セイコータイムラボ(株)採用 HP : <https://www.seiko-stl.co.jp/recruit/introduction/>